

実施します。また、水源地や浄水場の機械・装置についても計画的に改修を行います。

● 公共下水道や農業集落排水、コミュニティ・プラント施設の統合を検討し、効率的な運用と適正な維持管理を行います。なお、老朽化により改修時期が迫っている施設については関係機関と協議、調整を引き続き行い、今年度設計委託を行います。

(4) 環境衛生とリサイクル 対策の充実

● ごみの適正化と合理的な処理体制を一層推進するため、紙・プラスチック製容器包装等の分別収集をモデル地区設置の方法により、取り組むこととします。

● 可燃ごみ処理施設、リサイクルプラザ及び最終処分場の施設について、広域化処理を進めます。

● 環境への負荷低減及び資源循環型社会づくりを推進していくため、本年度も、住宅用太陽光発電システム、生ごみ処理機の設置補助制度等を継続します。

● 民間会社が計画している風力発電計画については、地元及び関係者の合意形成を前提に協力します。

(5) 土地利用計画と中心市街地の形成

● 土地は市民の貴重な財産であり、諸活動の基盤です。その保全と計画的土地利用を促すため、県営地籍調査事業を積極的に推進します。

● 土地区画整理事業やまちづくり交付金事業等総合的なまちづくりに努め、都市計画道路、公園等の社会資本整備と新市街地の形成により土地の有効利用を図ります。

● 国道312号沿線の与布土川から和田山インターチェンジ間において、商工業地・宅地化等の進展に併せて、汚水・雨水排水対策等を検討し、適切な新市街地の形成に備えます。

(6) 鉄道・道路等交通網の整備

● 北近畿豊岡自動車道をはじめ、国・県道の整備充実について関係機関へ要請します。なお、北近畿豊岡自動車道開通がこの夏に予定されており、供用開始に向けて努力します。さらに、関連事業として同道路を利用する長距離バスのバス停設置のため、バス利用者用駐車場を整備します。

● 市道整備は、計画的に新設・改良を図ることにより、

道路機能の良好な維持管理に努めます。

● JR播但線電化高速化・山陰線高速化の促進及び余部鉄橋架け替えなど、鉄道の利便性向上に努めます。

● 播但線は、平成18年4月1日に姫路・和田山間全線開通100周年を迎えます。播但線複線電化促進期成同盟会は、沿線の歴史文化・自然環境等の資源をいかした観光振興に結び付けるイベントや、播但線の利用増につなげる、「合併一周年記念・朝来市民号」「播但線全線開通100周年イベント」など各種記念事業を実施します。

● 但馬空港の神戸便開設や東京直行便について、関係市町と連携し検討します。

(7) 住宅対策の充実

● 人口減少時代に移行したことから、市内人口の減が懸念されます。まちづくり定住促進対策事業を実施し、住宅の新築者・民間賃貸住宅の入居者等に補助を行い、定住人口減少の抑制に努めます。また、空き家対策として空き家情報を提供します。さらに、

● 愛タウン・立野団地・田中第2団地の分譲宅地の販売促進に努めるとともに公社の弥生

が丘団地、労金城南台等の早期定住化を支援します。

(8) 情報通信基盤の整備

● 市民サービスの電子化を効率的かつ計画的に推進するため「地域情報計画」を策定します。また、携帯電話の不感地域の解消に向け、引き続き関係機関との調整により適切な対応を図ります。

● ケーブルテレビの運営は、順調に推移していますが、今後は朝来、和田山局の2局体制の統合時期を明確にし効率化を図ります。また、2011年7月からのフルデジタル化の調査研究を進めます。

● 平成17年度に整備した地上波デジタル放送については、十分な説明とサービスの充実に努めます。また、同時に整備した光ケーブルループ化を有効に活用し危機管理に努めます。

● C A T V施設を利用した



ラジオA M放送について、ニーズと費用対効果を精査し検討します。

(9) 防災・消防・救急対策の充実

● 本年度中に地域防災計画を策定するため、計画的に作業を進めます。即応性・実効性のあるものとするため、台風23号災害の検証や防災アセスメントを行うことにより、

● 市の防災上の課題を網羅した計画書の作成に努めています。さらに、本年度は地域防災力の向上を図るための防災マップ等の作成を行います。

● 複雑多様化する災害から、市民のかけがえのない命と暮らしを守るため、消防署が円滑に対応できるように「高機能消防指令システム」を構築し、市民が安心して暮らせる朝来市を目指します。

● 防災意識の高揚と地域ぐるみの防災体制の充実に努めるとともに、消防本部と消防団との機能分担と相互の連携強化を図り、災害による被害の軽減に努めます。

● 住宅用火災警報器等の設置が義務化されたことに伴い、積極的に警報器等の普及を図り、火災による死者「0」を目指します。

● 災害時等に発生する道路